

病の奇の水俣 国会で取り上げる

水俣の奇病

谷口 参議 陳情団に答える

の結論を二日でも早く出してほしい。(東京支社)

水俣市の奇病の原因調査や沿岸漁民三百世帯の救済陳情に上京中の淵上水俣市漁協組合長、中津同市漁業被害対策委員会副委員長らは五日午前十時厚生省を訪れ中垣政務次官に陳情、同次官は「厚生省としては早急に結論を出したい」と答えた。ついで一行は正午衆院第一議員会館で銀杏会に重打て陳情、淵上、中津の両代表が「四月の発症期を控えて心配でならない。奇病の原因を究明すると共に漁民の生活権の保障、漁業転換資金の融資、被害の補償手段を講じてほしい。そのため議員団を現地に派遣して調査されたい」と県選出国会議員の強力な援助を要請した。これに対して内村、坂田両議員が「期待にどうよう努力したい水産庁にも調査するよう申し入れ

ているが、同庁としては有明厚生事務所、九大医学部にメスを入れるよう頼んでおり、近く調査に乗出すことになっている」とそれぞれ説明。また谷口参議は「七日の参院社会労務委員会水俣の奇病問題を提案、国会としても執りあげ厚生省の対策を賛すことになっている」と発言したが、これは今後の奇病対策に一つの方向を打出すものと期待が持たれる。

▽淵上漁業協同組合長談・中央でも水俣の奇病に関心をもっていることが今回の陳情でよく分つた。このさうい奇病の原因を究明すると共に漁民の生活権を確保するよるな救いの手を差しのべてほしい。幸い銀杏会の強力な支援で国会で討議されることは大きな収穫であり、ぜひ何らか